

MONTHLY MAGAZINE KOBEITE MARCH 1961 NO.1

郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子

3月号



美
77



HILLMAN MINX *Hi Style*



兵庫いすゞモーター株式会社

神戸市葺合区雲井通4の15

TEL(代表) ② 4751・6121

■ 垂水ゴルフ倶楽部にて

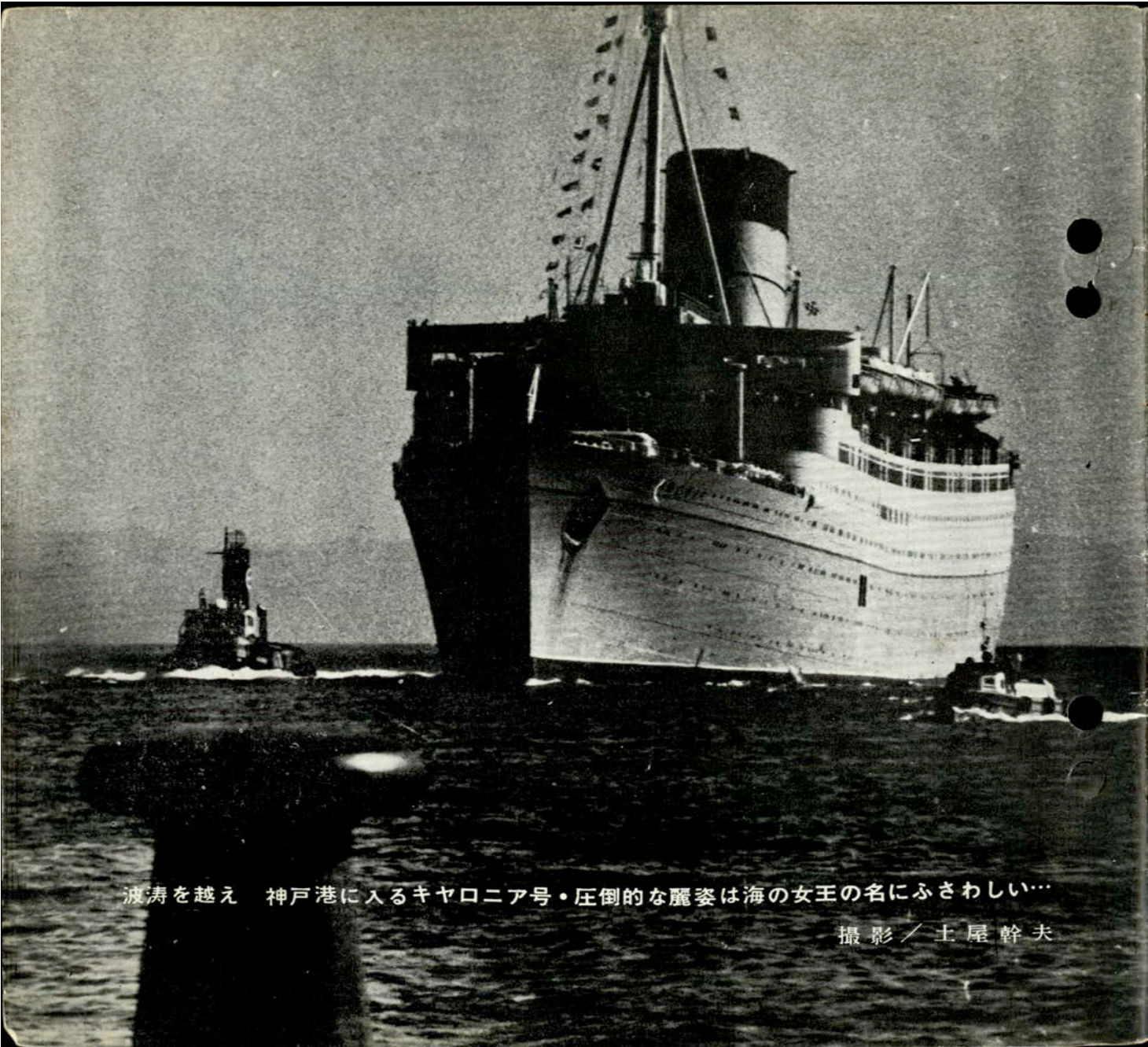
これは神戸を愛する人々の手帖です

あなたのくらしに楽しい夢をおくる

神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ

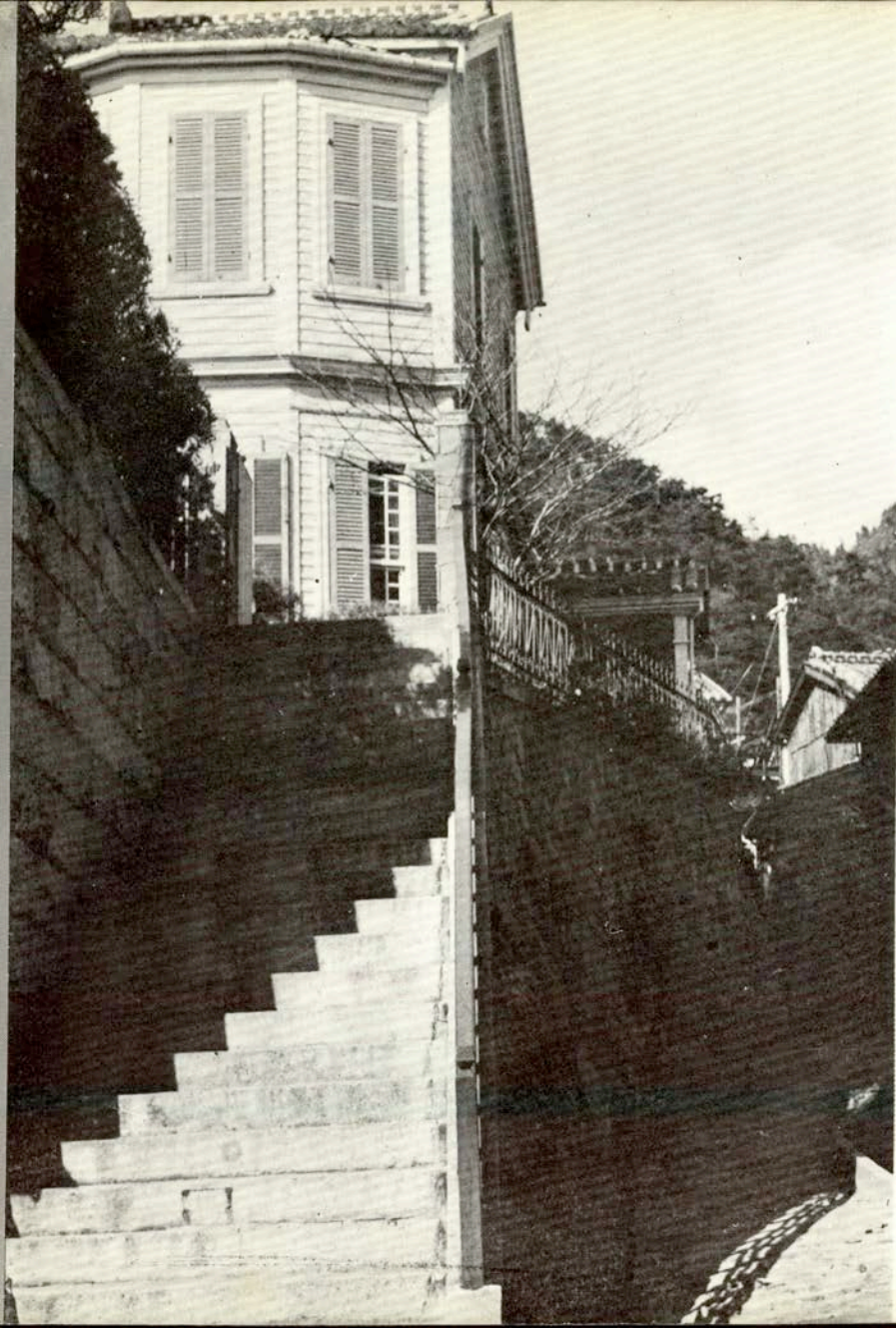
これは神戸っ子の心の手帖です





波濤を越え 神戸港に入るキヤロニア号・圧倒的な麗姿は海の女王の名にふさわしい…

撮影／土屋幹夫



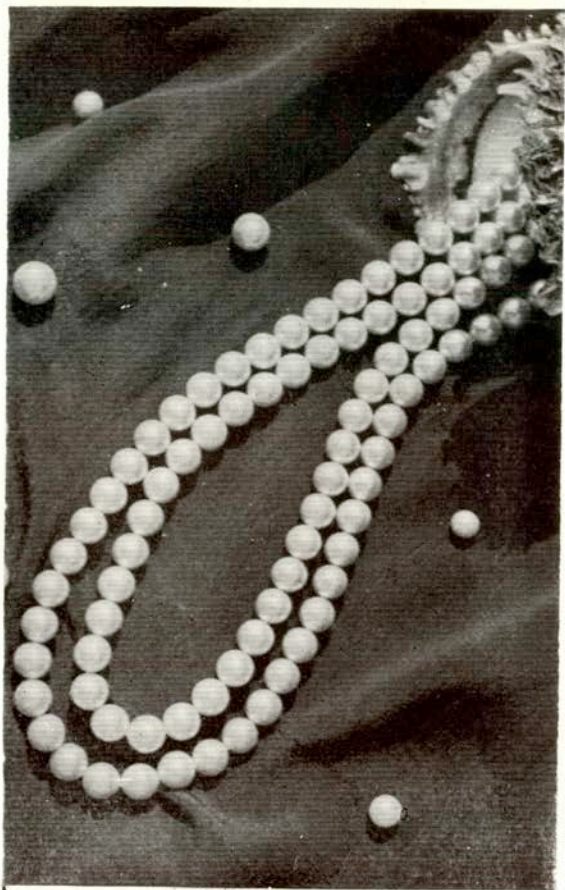
神戸は明るいみなと町。異人館のある山の手の風情はエキゾチックな夢を呼ぶ

撮影／松下治子

元町・トア・ロード・センター街と神戸の誇るプロムナード、セーラーの軽ろやかな足どり



撮影 / 杉尾友士郎



北村パール

北村眞珠株式會社

神戸／元町2・東京／スキヤ橋センター
TEL ③ 0072 (571) 8032

表紙／川西美 〇カット／中西勝・貝原六一

3月 目次

写真／松下治子・杉尾友士郎 〇デザイン／橋昭三

- 写真／港・坂・町……………1
- お上りさん・古林喜楽……………5
- 神戸っ子放談／楽しき回想・小林芳夫 6
- 春だ、桃や桜が咲くというのに・細野耕三…8
- 私とトランベツト・宮地要二……………10
- 回想／ジャパニーズ・スマイル・青木重雄……………13
- 酒場にて・松岡寛一
- 神戸っ子の想い出・芳賀政夫
- 人の幸せを護る社会・小寺敏
- 六甲山の夜・升田武雄
- ホーム・スケッチ／滝川勝二夫妻……………17

- 座談会／神戸を語る……………18
- BOMSOIR・MADAME……………23
- カメラルポ／酒……………24
- PHOTO／線・堀内初太郎……………26
- 春を呼ぶ六甲山……………28
- KOBÉ・AND・JAZZ……………30
- 特集／世界一うまい神戸のビフテキ……………34
- KOBÉITE・シヨッピング・ガイド……………38
- コント2題／亜奈木寿人・厚木冬三……………43
- インタビュー／明石照子……………48
- 華麗なる千拍子／寿美花代・写真……………51



古林 喜楽
カット 中西 勝

小学校の四年生のころ、私は生れて初めて田舎から神戸へ出てきた。兵庫駅につくと、電車が走っている。どこでも乗せてくれるのかと思って、追っかけたが、止まったとたんにまた動き出してしまふ。いくら追っかけても乗れない。とうとう新開地のあたりまで来てあきらめた。当時の市電は兵庫から春日野道まで一本だけで一区三銭四区にわかかれていた。何分都会が珍しいので、右を見・左を眺めながめながら、うろうろ歩いているうちに、流道もいつしか過ぎて、春日野道まで歩いてしまった。ほど近い叔父の家によくよう通りついて、「歩いてきた」といったら、誰一人ぼんとうにしてくれなかった。嘘なんてつくものかと、子供心に憤慨したことが未だに忘れられない。

△五・六年まえの三月、私がまだ学長であったころ、卒業の式典をすまして、そのあとの学部ごとの謝恩会を順々に廻っていた。経営学部の会場へ入ってゆくと、イキのいい新卒の学士さんが、壇上で大いに気焰をあげている。

「僕は瀬戸内海の孤島で中学を終え、電車もない町で高校を修了して、あこがれのこの大学へ入試を受けるべく生れて初めて神戸へ出てきた。兵庫へついて電車に乗ったら、そのとたんに、誰もドアをしめないのに、ひとりでにしまつてしまふ。さアーえらいことになりけり降りるときにはどうしようかと気をもんでいたが、さて止まるとまたひとりりでドアーが開く。それから二・三日して大丸へ行って、これも生れて初めてエレベーター

に乗った。降りるときに、いくらですかと女の子に聞いたら、お金なんかいらぬのよという。ハァーただでこんなものに乗せてくれるのか又々たまげた」これにはさすがに一同の爆笑につく大爆笑を買ったのであるが、戦後の昭和の御代に、まだ電車にもエレベーターにも乗ったことのない学生が、神戸大学に入ってくるのであるから、全く愉快でもあり、また日本も広いものかなである。

△しかし諸君よ笑い給うな。今でもスイスでユングフラウへ登り、終の下山電車の発車を見て、雪の中をつまづきまろびながら、必死の形相で電車を追いかけて追いかけて、ようやく次のストップでとび乗ったという大学教授もある。こういう私も一昔まえ、ニューヨークで電車に乗ったが、車掌がいない。ヨーロッパに二年もいて、外国の勝手は何もかも呑みこんでいるつもりだったが、乗るときに運転手の横に立てあるボックスに十セント貨を各自がほり込むだけで切符がないというのは知らなかった。二つか三つ目の停留所で電車が止まったとき、運転手が私の方をふりむいて、早口に何かわからぬことをゴチャゴチャという。私は「ここで降りるのか」と彼が聞いているのではなからうかと早合点して、否々と手を振った。十セント入れろといっているのに手を振ったのだから、乗客の大爆笑を買ったという始末であった。エレベーターでも、一人で乗っているとき、途中で故障をおこしてとまってしまい、あわてふためき宙ぶらりんというドイツ語をまちがえて、首をつった!首をつったとなつて、ベルリンで大騒ぎをまきおこした大学教授も大阪にいる。

△一年半カリフォルニア大学で勉強をし、その間アメリカを方々旅行して最近帰ってきた青年がいうのに、汽車には一度も乗らなかつたという。短期の旅行者ならいざ知らず、一年半もいて、あの広いアメリカ中を廻るのに汽車が要らないようにまで、バスと自動車が発達している御代とはなつた。日に列車が一本しか走らぬ路線もあるようだ。

五十年前の神戸から話をはじめたが、五十年後の神戸はどうなつていようか。お上りさんが電車に乗らうにも、電車がなくなつてしまつていようのではなからうか。またそうなるべきである。大きな線路で道をふさぐ時代ではない。
(神戸大学教授)



楽しき回想

小林芳夫

小春日和のやわらかい日ざしが、広々とした個室をつんでいる。明かるい色調の絵画が数点かけられて、芸術家の部屋という感じだ。軽い人ざわり、背広もゆつたりとこなして応揚な気品のある人、静かな口調で話されるが、その内におかし難い迫力も秘められている。

「こちらにやって来たのが昭和十二年だから、もう二十四年になる最初は西宮に住んでいたんだが、戦災を受けて焼け出され、神戸銀行に住み込んだり娘と一緒に間借り生活してね。これは未だに忘れられないことだ。それから山本通三丁目附近に移り、また中山手通七丁目に移ったというところだ。」

六甲の想い出

私は戦前よく山登りをして、ハイキングなんだが、日曜ごとに、あるときは芦屋から宝塚に、時には、横断して有馬に抜けるなど、六甲山をいろいろな角度から登った頃があったが、楽しかったよ……四十ぐらいの時だったかな、ちょうど神戸銀行の運動部長をしていたのでついていたようなものだが、この頃の六甲の印象はいまも強く残っている。その頃、銀行倶楽部が三菱銀行神戸支店の裏(三越の前)になっていて、倶楽部で昼食をとってから、元町を散歩しながら銀行に帰って来るのがたのしみでした。元町の四季を楽しんだようなものだから夏になるとその頃流行のシャーパーツなどを店に立寄って食べたりしながらね……神戸はほんとに住みよい、いい街だ。季候にも恵まれているし、食べ物も美味しいし、

とくにいいのは物価が安いこと。名古屋に次いで神戸は安いんだろ。とにかく、東京、大阪から神戸に帰って来るとほんとにほっとした気分になる。

神戸の風土は最高たるうな。

新しい町づくりを

戦前の神戸と、現在の神戸とをくらべると、どうしても戦後の神戸は見おとりがするように思える。戦後の回復が遅れて、復興が十分に推進しなかったのだと思うがこのことは神戸の経済に大きく影響しているようだ。とくに、電信電話機関の復興が遅れた。大阪との間でもなかなか連絡がとれなくて困ったものだ。私なども、電車で行った方が早いと思つたことが何度もあつたらね。印度商社なども、これに困却してほとんど他地に移転してしまつたほどだ。終戦当時、神戸は第三国人の勢力が強くて何かと復旧にさしさわりも多かったのも事実だがそれだけで済ましてしまつてはいけないと思う。やはり神戸を愛する人の気持が強ければもっと良くなつただろうと思う。郷土を愛する人々が、がっちりとした体勢をととのえて、神戸をよくするために前進すべきだね。夢のかけ橋といわれる、四国と神戸を結ぶ大橋の架設も結構だが、もっと神戸をよくするための大切な事業が残つていると思う。最近では県・市・商工会議所などが一体となつて活発に動いているようだが、総合的な体勢をもつと強化させなければいけないよ。道路の計画にしても、電信、電話、水道、ガス、下水道にいたるまで総合的な計画を充分にねつたりえでとりかかるといふように、何度も同じ道路を掘りかえすようなことは極力避けることだ、神戸は何んといつても貿易の町なんだから私たちが計画して作った繊維問屋街のようなものが、どんどん出来なくてはいけないよ。また大規模なものが作れるように条件をよくすることなども考えなくてはいけないだろう。

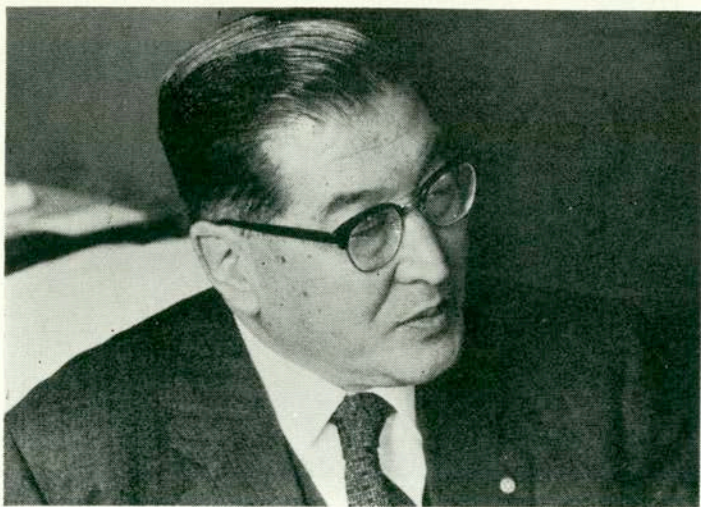
神戸港は日本の玄関

神戸は、神戸だけで繁栄するということはないと考えられないことだ。京都、大阪、神戸を結んで大経済地域を確立してこそ初めて、神戸が日本の玄関になって来るので、そうすれば大神戸港が自然に脚光を浴びることになると思う。新らしい町づくりでは、名古屋などが一歩先んじているようだね。何んとしてもこの遅れを早く取り戻したい。それには神戸を愛する人が頑張らなくては行けない。商店街なども外国でやっているような高層建築

の計画などをたてて「新しい町づくり」を進めていかなくてはいけないと思う。

私のよき反省の場

昭和二十八年、岸田幸雄知事から兵庫県のボーイ・スカウトの連盟の世話を引き継いでいるが特に都会地神戸の青少年がすこしでも良くなってももらいたいという願いからだ。ボーイ・スカウトは学校生活、家庭生活から離れて、社会教育の場として組織を作り、秩序と規律をもって良い環境を作るように指導して、社会を明るくする立派な公民を作るコースなのだ。参加する私たちにとって、よき反省の場だとも思っていますよ。神戸生活協同組合もお世話していますが、生活文化をより向上させるためには必要なことだし、生活文化の飛躍が計れると思っている。



「神戸っ子」に寄せる

もう私も神戸に住みついたといった感じですね。従って神戸っ子になるわけだ。この神戸が伸びれば日本の繁栄にもなるのだから、神戸の繁栄を使命にして行くことだ。どんな人にも読まれ、愛される、楽しいものに育ってほしい。何事も片寄ることはいけない。自立の道を進んで、私たちが知らない生活の声を伝えてほしい。

趣味は芝居と踊り……演劇となると目がないんだとアルバムを繰りながら説明していただきました。表題は「銀次郎旅日記」これは昭和二十六年に東映で撮影した映画で経済自立をテーマにしたもの。この映画は、マキノ監督の手によるもので片岡千恵蔵、市川右太衛門、大友柳太朗などオール・スターの出演でその主役らしき、銀次郎をやったのけたのだといわれるから「プロ級」人情劇は十八番というからすこい。「国定忠治」「父帰る」「まぶたの母」がすでに披露済みと、レパートリーの広いのにびっくり……

日本舞踊も「雨の権八」といった芝居がかったものがお得意。年に一度は舞台を踏ないと気がすまないそうです。

(文責・小泉)

神戸証券取引所理事 長
K K 神戸銀行 取締役
K K 日本ブラッドバンク
取締役 社長
日本ボーイスカウト
兵庫連盟 長
神戸生活協同組合 長

春だ、桃や桜が咲くと云うのに／細野耕三

カット 貝原 六一



もう春だというのに、相変ずラオスは硝煙臭いし、アメリカとキューバも目に角を立ててやり合っている。コンゴもアルジェリヤも。そこで、私が飼っている細菌をばら撒いてきたらと、考えるわけです。

「どんな細菌だつて？」そうは簡単に教しられませんが、何しろ私が自分の体を実験台にして培養してきた細菌ですからね。ちよつとだけ発表すると、繁殖力は非常に旺盛です。時に興奮している時は、いち早く脳神経を侵します。

その第一期症状は、何も彼も面倒臭くなって口先でチランポランを並べて、行動力がなくなる。丁度、眠った春の午後みたいなんです。

第二期の症状は、国家意識とか思想とか、とにかくむずかしい事は全然考えなくなる。そして、第三期に入ると、「どうでもいいや、何んでもかまわぬ、仲良く行こうよ、チャッチャッチャー」といった具合に踊りだします。こうなったら、細菌が完全に効いてきたわけですね。もうすぐ伝染夢延します。もう御存知かも知れませんが、日本国民の中にもたいぶ、この菌に侵かされている者があるでしょう。ですが、どうも日本人の場合

は、同体質のせいですが、劣性遺伝になるのでしようかね。チランポランを云う事や、忘れっぽくて、どうでもいいやといった点ばかりが強調されているようです。然し、免疫性のない外国人には完全に利きます。ただし問題が一つある。それは運搬方法なんです。何しろ培養体、つまり私から直接バラ撒かないと、どうしても菌の濃度が薄くなるし、効果も弱くなるわけです。

そこで考えたのですが、船を一隻、買いかチャーターするかして手に入れる。なかにポロ船でいいんです。どうせ、売れない原稿書きへッポコ小説家の私の事だから、暇は馬に喰せる程、充分あることだし、太平洋の青い海を楽しみながら、のんびりと行ってきます。海はいいですよ。第一目的の地はキューバーですかね。一番緊張しているようだから。

「航路を知っているかって？」任かしといて下さい。十三年間も外国航路をやっていたんです。太平洋くらい眼をつぶっていたって行けます。世界じや、どこの国のどの港だって大抵知っているし、その港のどこに行けば美人に逢えるといった事まで詳細に暗記していますよ。たとえば、細菌をバラ撒きに行くキューバーはハバナ港

ですね。メキシコ湾に入ったら不夜城マイアミの街の光を自当にする。夜でも十湊沖から見えますよ。

本当はマイアミに寄って、私の細菌をパツパツとピキニスタイルのアメリカ人にかけておいた方が道順としていいんですが、アメリカよりはキューバーの方がカンカンだから水着美人は双眼鏡でのぞき見るだけにしておき、マイアミの燈台が左舷三十度まで移ったら、針路を真南にとる。約百四十哩走ったらハバナ港の入口にある山王城の高い塔が見えますよ。いまは死刑場ですがね。役人に一ドル袖の下を掴ませるとピストルで死刑執行をやる現場を見せてくれます。もつとも革命前の話でしたけど。

海からそり立った城砦の石垣が切れるとすぐハバナ公園が見え、まっ昼間から抱き合っている姿が木蔭の下全部に。ぼんやり見ていたら大変、港の水路は狭いんですからね。たいていの船は、ここでエンジンを止めて水先案内人を守つてますが、私は密航船で行くんだからそうは行かない。第一、船を止めて抱き合っている男女に見とれているなんて、私の趣味じゃありませんよ。私はその点は直接接触の方が性に合ってますね。

ところで水路を通過して港内に入ると、雑貨、重量物砂糖の順に岸壁が並んでいて一番奥の街に近い所がヨットハーバー。密航者はみんなここから上陸します。警戒が一番厳重なんです、袖の下が一番利くからなんです。パスポートだって金さえだせば役人が偽造してくれるし懐がさびしくなった頃にはその役人が握えてくれて、官費本国送還という段取りにできています。

勿論、私もヨットハーバーから上陸します。一週間あれば、保有細菌をばら撒くには充分ですからね。道路一つ越すと、すぐそこにカスバがあるんです。そらあ女も世界じゆうの人種でより取り見どり、然し、その女達では数が多過ぎて、カストロ氏に伝わるまで菌が薄くなるといけないから、真直ぐに通り返して、官公庁街の裏側になる高級住宅地街に行きますよ。

「お前なんか、相手にするかですって？」
冗談じゃないハポネス（日本人）は少々小形だが最高ですよ。耐久力といい感触といい。ええーと、なんの話でしたっけ。そうそう、どうでもいいや、チャランポラン病にする細菌で、世界緊張緩和に役立てる話でしたっけね。どうやら培養体である私自身が第四期症状になつて

きたらしいです。最終的にはこの菌に侵されると思考分裂発情症になるんです。

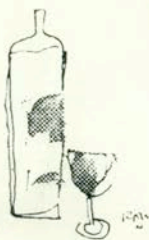
とにかく、そういう訳で、黒髪黒耀石の曠、真白な肌の美人を中間体にして、この菌をカストロ氏に植付ける次にワシントンに行つて、ケネディ氏の周囲にバラバラと撒く。この方はほんのちよつとでいいと思ふんです。菌が利きすぎると、ドル防衛のためには、日本経済の三つや四つ、破滅したつてどうつてことないやなんて、かつて池田首相に利き過ぎた時のように放言されては日本が困りますからね。

それから、大西洋を渡つてアルジェリヤに行き、民族主義と国家主義者に濃度菌を叩きこんでグニャグニャにし、コンゴを廻つて、ラオスに行く。ラオスでは左右両思想主義者に……すいません。ちよつと待つて下さい。「おい、ママ、いま話の最中なんだ。赤ん坊を泣かすな！うるさい！」

「なに、年児で双児で、いや双児で年児ですから四部合唱で、うるさいのはあたりまいだ。それより、暖くなつてきたのに、一日じゆう家において、昼間から酔払つてゴロゴロしてるんだつて！怒つてやらあ！」

「よおし、そうずけずけ云われたんじゃ、私だつてカンカンド。酔つて悪いですか、酔つて、こう暖かくなつてきては昼だろうと、朝だろうと、眠くなりますよ、だいたいママはね！」

ちよつと待つて下さい、ちよつと、どうもおかしい。夫婦間の緊張緩和には、この菌は効力はなかつたのかな第一ですよ、二年間で子供が四人もきたとなつて……変だな、確かに興奮している時は、細菌の効力は最高に發揮されるんですがね、たしかに、弱りました、こいつは………終———
(作家)



私とトランペット

宮地 襄 二

ニュー、フロンティア時代とあってケネディ株は仲々人気があるこのケネディ株にあやかるという訳ではないが神戸の財界を代表する船舶界から新しい時代のフロンティアマンにいろいろ神戸を語っていただいた。

宮地襄二氏は最近経済同友会の代表幹事となり活躍が期待されている。

私は神戸の風物がたとえようもなく好きなんだが、とり分け印象的なのは、海から見た神戸の風景で山が海に迫って異国情緒のある建物が点在して、実に美しい。

季候も神戸ほど恵まれているところは何処にも見当たらないように随分あちこち、歩く方だが神戸の食物の味覚は一流だと思う、私のような左党にとって、超然と天下第一級の味を誇る灘の酒が身近かく味えるのは楽しき極みだ灘の酒が素晴らしいところに、魚がとつてもいい、肉は最上というんだから、神戸をあこがれない人はないだろうな。

私はゴルフも好きな方だが神戸



の広野ゴルフ場など日本屈指のもので、ゴルフを楽しむ人が神戸に行き度いという気持は判る。自慢はなしになるようだがスポーツには自信がある。この間も野球をやって、さかんに猛打をほしいままにして、ちゃんと打撃賞をいただいたし、少々動きまわっても身体が痛むようなことがないんだ。学生時代は剣道などでだいぶ鍛えてあるからね。

剣道でも正式に学校を卒業するまでに、二段をとっているから年の功を計算して、自称三段ということにしているんだ。

学生時代（学習院大学）は音楽にも凝って、学内切つてのトランペット吹きだったんだよ。

ちようどその頃、学生仲間でこれまた、好きなのがいて、一緒にグループでやってたんだ。しげた博といつたね。東大の法科の学生がいたんだ。

この学生が皆さんご存知の日曜娯楽版の三木鶏郎だよ。

彼がNHKで日曜娯楽版を編成

するのにはトランペットがいなくて僕を随分探したといつてたよ……だからトランペットは相当自信がある。いまでも、東京に出ていくと学習院OBで出演することもあるんだ、こんなのが一番楽しい気分にはたれるね。

神戸に来たのは昭和二十一年、もう神戸っ子だな、神戸にやっ来て驚ろいたのは、この神戸のオフィス街の中心地のような海岸通りに、空地が多いこと、一体どういうことなんだろうと不思議に思った。それに神戸に本屋さんの少ないのも気になったよ、大体神戸の人は本を買わない気なのかと思つた程なんだ。古本屋さんもとり立て多い訳でもないし、図書館も別に満員になって身動きがつかないというところもなさそうだし、本を読むことをあまりしないという傾向はどうかと思うな。……

（宮地汽船社長）



④ 柴田音吉洋服店

神戸・元町通四丁目 ④ 0693

大阪・高麗橋二丁目 ②③ 2106

新しい味覚と
古い老舗!



マロングラッセ

ゴーフル

新製品 コウベピアー

神戸・元町三



風月堂

創業 明治三十年

TEL. 神戸 ③ 695・696

Mikimoto Pearls



春の優雅な装いに…
ミキモトパール



御木本真珠店

神戸店・神戸国際会館内 Tel. 2-0062

大阪店・新大阪ビルヂング内 Tel. 36-0220

本店・東京銀座四丁目 Tel. 535-4611



高級紳士服地

ミック
リアインテックス